東海第二発電所　ヒアリング資料	
資料番号	TK-1-001 改0
提出年月日	平成29年10月23日

東海第二発電所　工事計画認可補正申請書に係る全体工程（案）

平成29年10月～平成30年11月

平成29年：10　11　12　平成30年：1　2　3　4　5　6　7　8　9　10　11

【設置変更許可】◆申請・許可工程

補正
再補正
（審査書案作成）
最終補正
（審査書案に対する意見募集）

【工事計画認可】

◆主要工程

第1回補正
第2回補正

共通	工認作成要領		
本文	要目表		代替循環冷却系、西側淡水貯水設備、常設高圧電源装置、緊急時対策所発電機燃料輸送系等
本文	基本設計方針		設置変更許可補正書修正反映
本文	適用基準及び適用規格		
添付書類	【施設共通の説明書】 ・設置許可との整合性に関する説明書		
添付書類	・自然現象等への配慮に関する説明書		
添付書類	・津波防護に関する施設の設計方針		▽①遡上津波の影響
添付書類	・設定根拠に関する説明書		
添付書類	・健全性に関する説明書		
添付書類	・火災・溢水防護に関する説明書		
添付書類	【施設個別の説明書】		
添付書類	・原子炉本体、排気筒、格納容器の基礎に関する説明書		
添付書類	・有効吸込水頭に関する説明書		
添付書類	・中央制御室の居住性に関する説明書		▽②-1：気密性、②-2：開閉機構
添付書類	・原子炉格納施設の設計条件に関する説明書		▽③-1：健全性確認方法、③-2ガスケット増厚試験結果、③-3：データ拡充試験結果
添付書類	・非常用電源の出力設定に関する説明書		
添付書類	【品質管理の方法等】		各設計反映
添付書類	【耐震性に関する説明書】 ・耐震設計の基本方針		
添付書類	・地盤の支持性能に関する基本方針		▽④追加調査結果
添付書類	・耐震設計上重要な設備を設置する施設の耐震性についての計算書		▽⑤D/C建屋補足説明資料 R/B、D/C建屋、取水構造物、排気筒の地震応答計算書 新設施設の地震応答計算書、既設/新設施設の耐震計算書
添付書類	・機器類の耐震性についての計算書		原子炉本体の一部、ECCS系ポンプ等
添付書類	・配管系の耐震性についての計算書		再循環系、主蒸気系、給水系 ▽⑥-1：弁の機能維持
添付書類	【強度に関する説明書】 ・機器類の強度に関する説明書		原子炉本体の一部、排気筒等
添付書類	・気水分離器及びスタンドパイプの応力計算書		▽⑥-2 モデルの妥当性説明
添付書類	・配管系の強度に関する説明書		
添付書類	・自然事象等への配慮が必要な施設の強度に関する説明書		
添付書類	【図面】		西側淡水貯水設備、常設高圧代替電源装置、緊急時対策所用発電機燃料系、海水ポンプ室防護壁

審査会合における指摘事項

①	敷地遡上津波		10/5：防潮堤ルート変更後の遡上津波の流速、浸水深を説明すること。
②	ブローアウトパネル	②-1	10/12：スライド扉について気密性を維持できる構造であることを詳細設計段階で説明すること。
		②-2	10/17：スライド扉の確実な開閉について、詳細設計で説明すること。
③	原子炉格納容器限界温度・圧力	③-1	9/21：200℃、2Pdでの健全性の担保の考え方を示すこと。
		③-2	9/21、10/5：ガスケットの増厚に関する検討結果について後段の工認段階で説明すること。
		③-3	10/12：圧縮永久ひずみ率のデータを拡充し、工認で説明すること。
④	地盤の支持性能		9/5：詳細設計段階において、追加地質調査結果を踏まえ、各施設位置の液状化強度の信頼性及び代表性について合理的に説明すること。
⑤	地震応答		9/26：使用済燃料乾式貯蔵建屋の地震観測記録を踏まえた耐震評価を行なうこと。
⑥	耐震評価	⑥-1	10/17：弁の動的機能維持評価の高周波数までの検討を示すこと。
		⑥-2	10/17：スタンドパイプへの極限解析に用いる解析モデルの妥当性を示すこと。